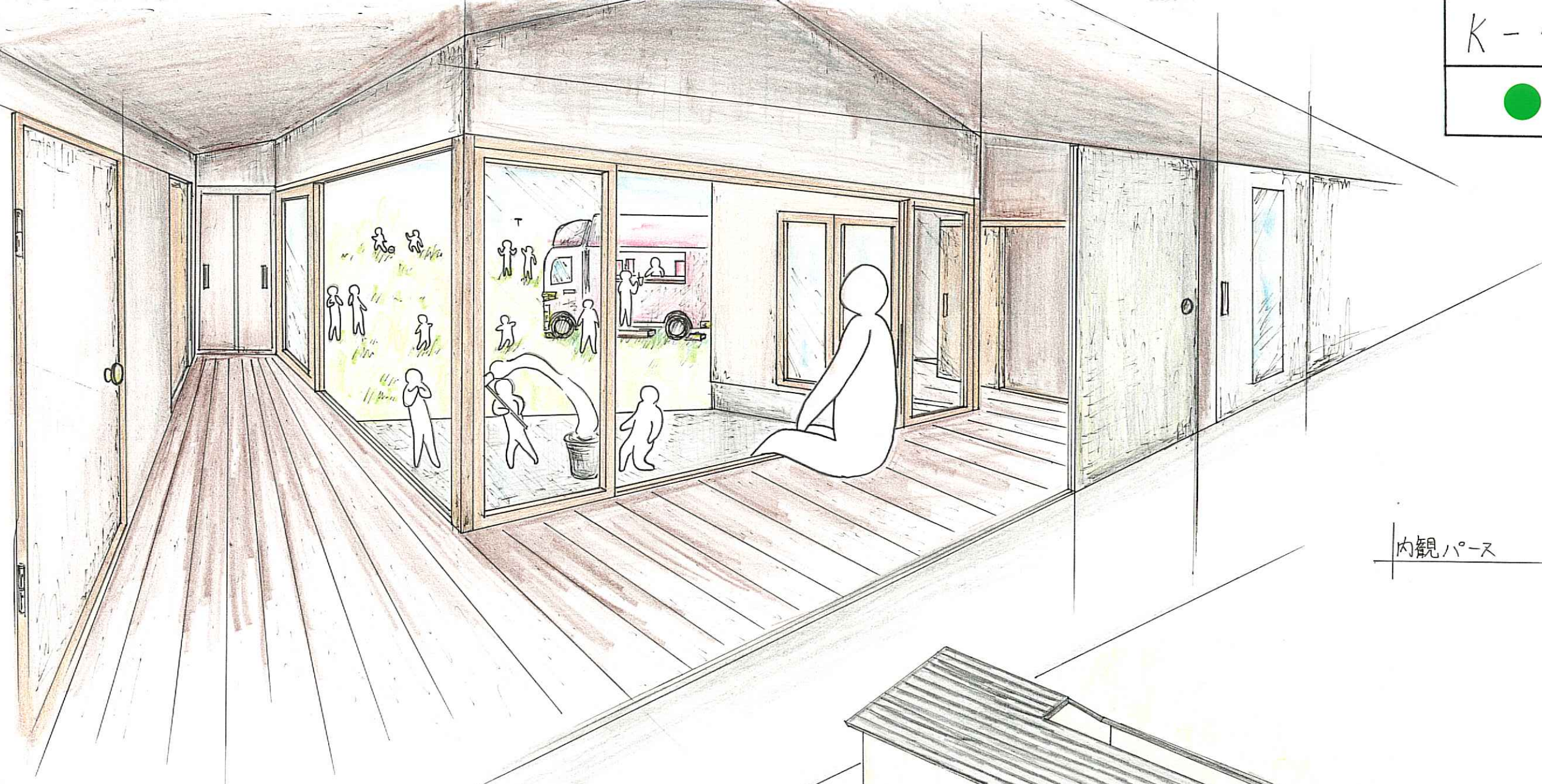
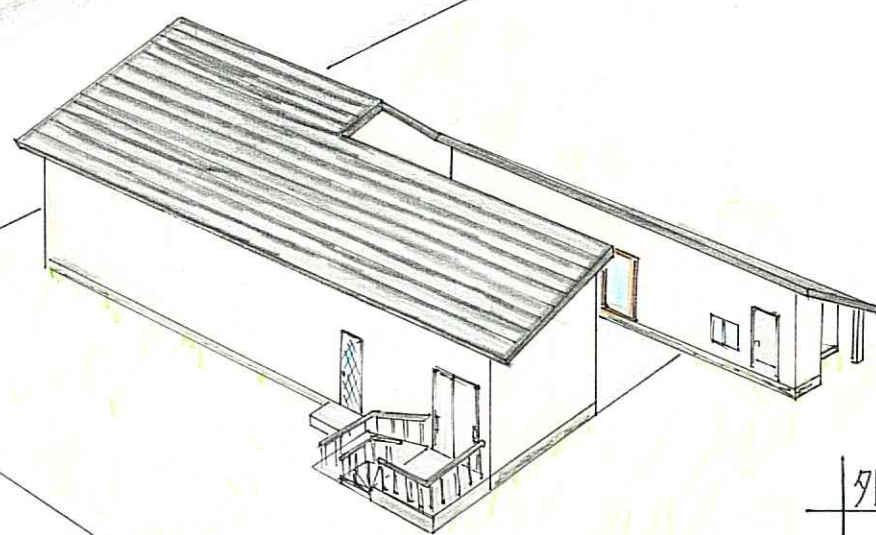
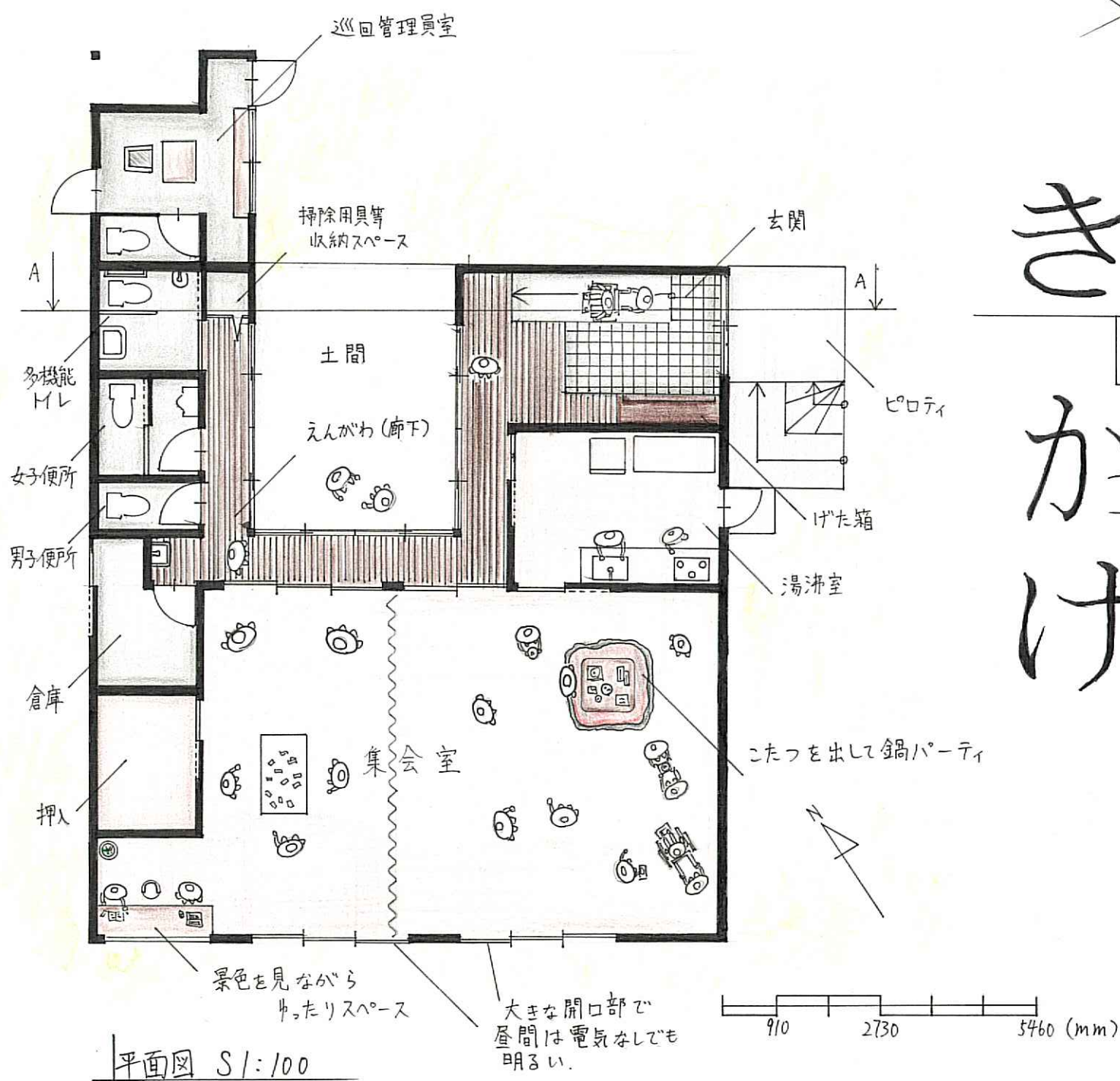




内観パース



外観パース



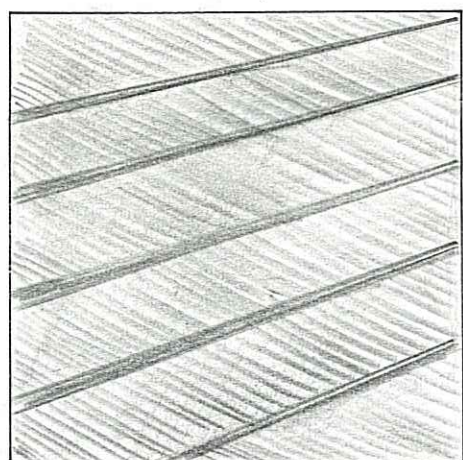
きかけ発掘所

設計主旨

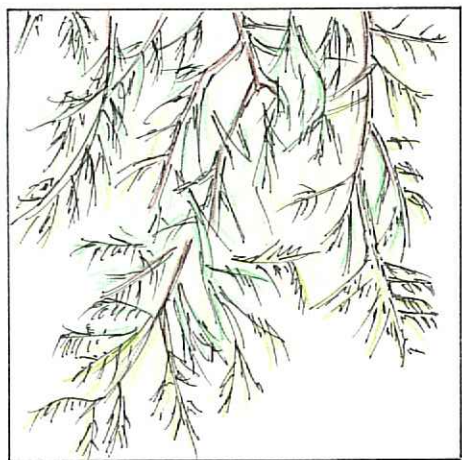
私は集会所で人と人がつながり合うことができるのは、外と内との境目を無くす"えんがわ"だと考えた。
えんがわは様々な役割がある。直射日光を遮れたり、窓を開け内を外と自由に移動できたり、心地の良い風を取り入れたりあるが、一番は、えんがわに腰かけて団欒することかできるということである。子供同士大人同士だけでなく両方が混り合って会話することで自然と町の団結力や住民間の人間関係が増していき、生き生きとした町にすることができる。

メッセージ

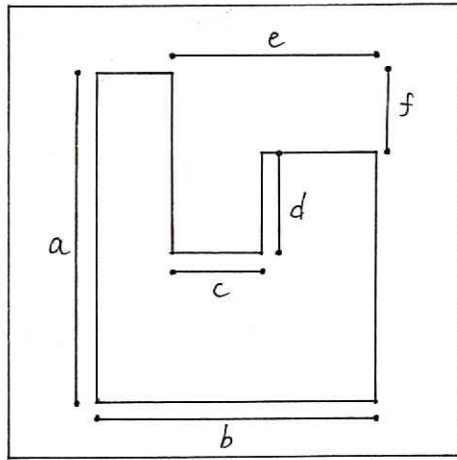
この集会所は広い土間があり地域イベントの際に様々な用途として活用します。例えば、夏にはスイカ割りや冬にはもちつき、土間をステージにして発表会にしたりと、この土間は人と人が交流するきっかけになります。
災害時には、広い土間に集まり湯沸室からえんがわを通じてスムーズに食べ物を配給することができます。



【屋根材はガルバリウム鋼板】



【壁材はヒノキ】



$$a \times b - (c \times d + e \times f)$$

$$= 15,470 \times 10,920 - (3,640 \times 4,550 + 8,190 \times 3,640)$$

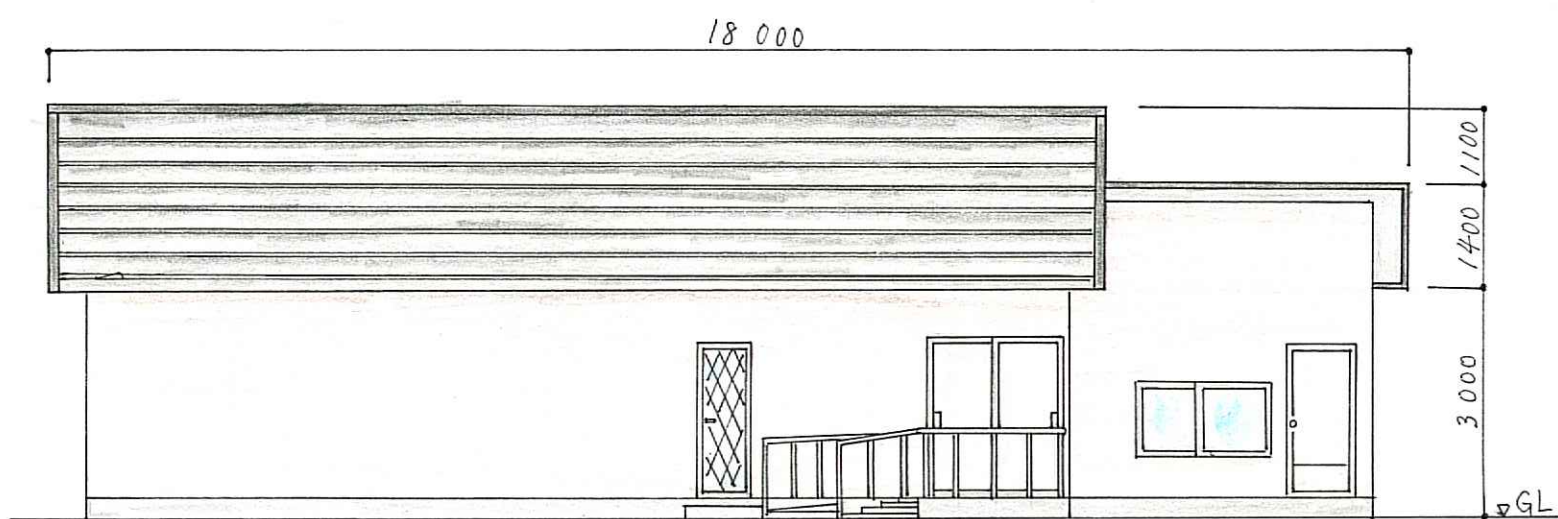
$$= 122,558,800.0 \text{ (mm}^2\text{)}$$

$$= \text{約} 123 \text{ m}^2$$

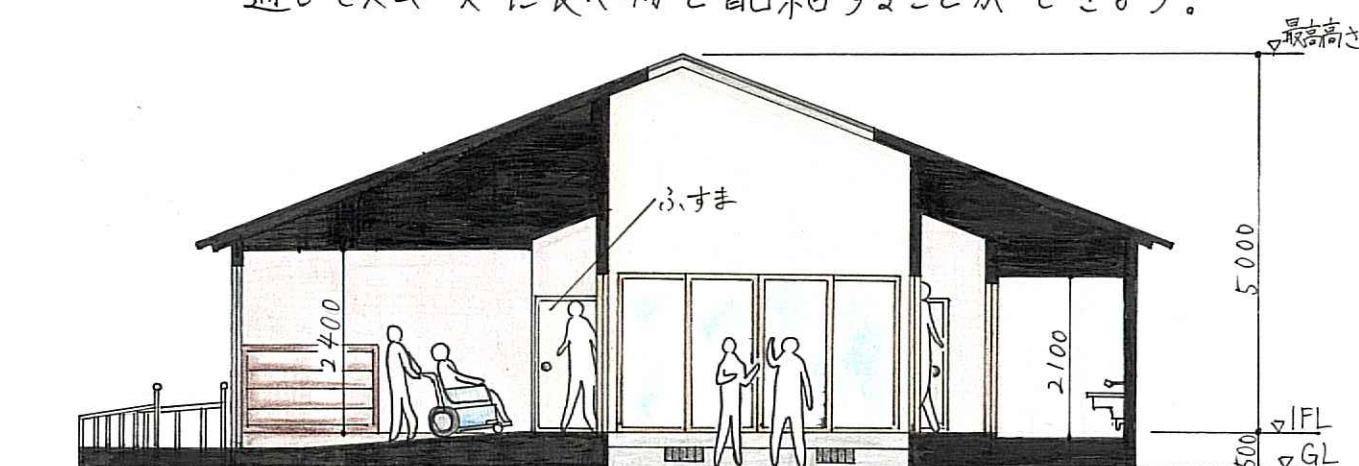
【構造は木造】

耐震性が高く、また、雨漏りに強いので、災害時にスレートや瓦のように割れたりはがれたりするのが少なく、40年以上の寿命が見込める。また、コストパフォーマンスにも優れているのも大きな特徴である。

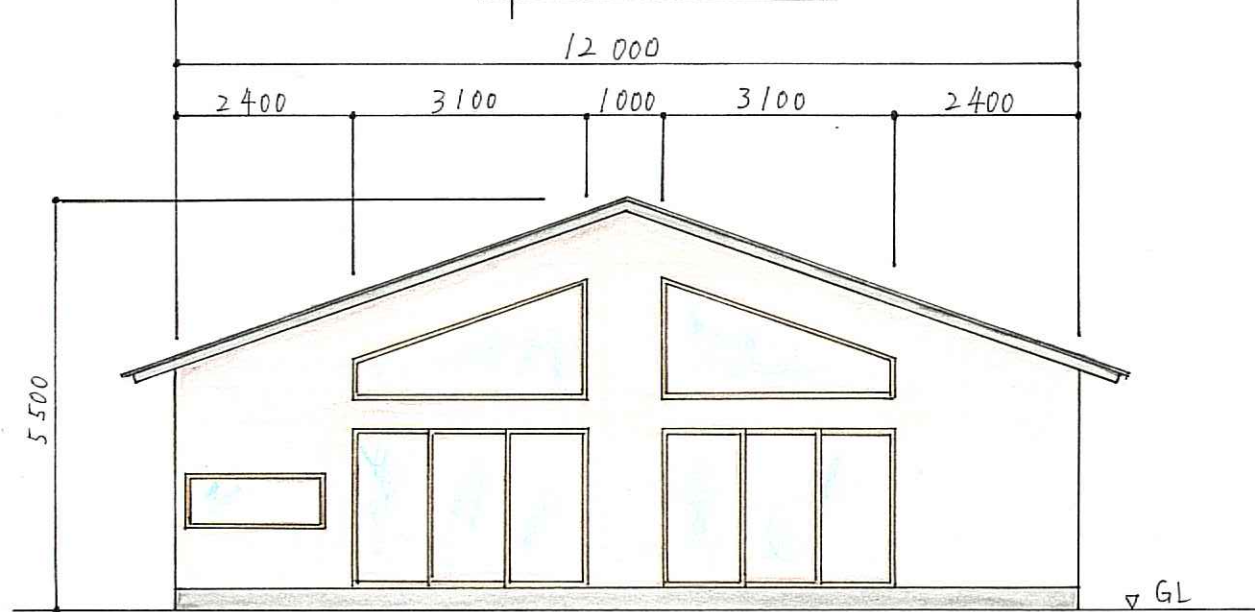
ヒノキは非常に硬い性質のため、劣化しにくく、調湿・断熱作用もあるため居心地の良い空間を作りやすい効果が期待できる。また、ヒノキ独特の香りによって人をリラックスさせる効果もありとても気持ち良くなる。



東立面図 S1:100



A-A 断面図 S1:100



南立面図 S1:100